



# Cisco Unity Connection Serviceability の概要

この章では、Cisco Unity Connection Serviceability の基本情報について説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- [Cisco Unity Connection Serviceability の概要 \(P.1-1\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability へのアクセス \(P.1-2\)](#)
- [Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability インターフェイスの使用 \(P.1-6\)](#)
- [アクセシビリティ機能の使用 \(P.1-7\)](#)
- [参考情報 \(P.1-7\)](#)

## Cisco Unity Connection Serviceability の概要

Cisco Unity Connection Serviceability は、Cisco Unity Connection の Web ベースのトラブルシューティング ツールです。次の機能があります。

- Cisco Unity Connection アラーム定義の表示。これは、トラブルシューティングに使用できます。
- Connection トレースの有効化。Real-Time Monitoring Tool (RTMT) で、トレース情報を収集して表示できます。
- Connection トレース情報を保存するログの設定。
- Connection 機能サービスのステータスの表示。
- Connection 機能サービスの起動、停止、再起動。
- さまざまなファイル形式で表示できるレポートの生成。

使用するサービスとコンポーネントによっては、Cisco Unity Connection Serviceability と Cisco Unified Serviceability の両方でサービスアビリティ関連のタスクを実行する必要があります。たとえば、問題をトラブルシューティングするには、両方のアプリケーションで、サービスの起動や停止、アラームの表示、およびトレースの設定が必要です。

Cisco Unity Connection Serviceability は、『Cisco Unity Connection サービスアビリティ アドミニストレーションガイド』で説明されている機能をサポートしています。Cisco Unified Serviceability の使用方法については、『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection』を参照してください。

### 追加情報

[P.1-7 の「参考情報」](#) を参照してください。

## Cisco Unity Connection Serviceability へのアクセス

Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスするには、次の手順を実行します。

### Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスする

- ステップ 1** サポートされている Web ブラウザを使用して、Cisco Unity Connection Serviceability サービスが実行されているサーバを参照します。[アドレス] フィールドに **https://<サーバ名または IP アドレス>** を入力します。このサーバ名または IP アドレスは、Cisco Unity Connection Serviceability サービスが実行されているサーバと同じものです。
- ステップ 2** **[Cisco Unity Connection の管理 (Cisco Unity Connection Administration)]** をクリックします。
- ステップ 3** 証明書の確認を求められた場合は、[P.1-3 の「Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用」](#) を参照してください。
- ステップ 4** インストール時に指定したユーザ名とアプリケーション ユーザ パスワードを入力し、**[ログイン (Login)]** をクリックします。
- ログインする前にユーザ名とパスワードをクリアするには、**[リセット (Reset)]** をクリックします。
- ステップ 5** Cisco Unity Connection の管理が表示されたら、[ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウン ボックスで **[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックします。

Cisco Unity Connection Serviceability が表示されます。



(注)

Cisco Unity Connection Serviceability にログインした後は、Cisco Unified Communications Operating System Administration または Disaster Recovery System を除き、[Navigation] ドロップダウン ボックスに表示されるすべてのアプリケーションに、それぞれのアプリケーションにログインすることなくアクセスできるようになります。Cisco Unity Connection Serviceability のユーザ名とパスワードを使用して Cisco Unified Communications Operating System Administration または Disaster Recovery System にアクセスすることはできません。これらのアプリケーションに Cisco Unity Connection Serviceability からアクセスするには、Cisco Unity Connection Serviceability の右上にある **[Logout]** リンクをクリックし、[Navigation] ドロップダウン ボックスでそのアプリケーションをクリックして、**[Go]** をクリックします。

[Navigation] ドロップダウン ボックスに表示されるアプリケーションのいずれか (Cisco Unified Communications Operating System Administration または Disaster Recovery System 以外) にすでにログインしている場合は、ログインせずに Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスできます。[Navigation] ドロップダウン ボックスで **[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[Go]** をクリックします。

### 追加情報

[P.1-7 の「参考情報」](#) を参照してください。

# Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer (HTTPS) の使用

この項は、次の内容で構成されています。

- [HTTPS の概要 \(Internet Explorer の場合\) \(P.1-3\)](#)
- [Internet Explorer での信頼できるフォルダへの証明書の保存 \(P.1-4\)](#)
- [Netscape での信頼できるフォルダへの証明書の保存 \(P.1-5\)](#)

HTTPS は、ブラウザクライアントと Tomcat Web サーバとの通信の安全を確保するもので、証明書と公開鍵を使用して、インターネット上で転送されるデータを暗号化します。HTTPS は、サーバの ID を確認します。これは、Cisco Unity Connection Serviceability などのアプリケーションをサポートしています。また、HTTPS は、ユーザ ログインパスワードが Web を介して安全に転送されるようにします。

## HTTPS の概要 (Internet Explorer の場合)

Cisco Unity Connection Serviceability に初めてアクセスした場合、サーバを信頼するかどうかを確認する [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスが表示されたときは、次のいずれかのタスクを実行します。

- [はい] をクリックして、現在の Web セッションに対してだけ証明書を信頼します。現在のセッションに対してだけ証明書を信頼すると、アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。つまり、信頼できるフォルダに証明書をインストールするまで、ダイアログボックスが表示されます。
- [証明書の表示] > [証明書のインストール] をクリックして証明書のインストールを実行し、その証明書を常に信頼することを指定します。信頼できるフォルダに証明書をインストールすると、Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されることはありません。
- [いいえ] をクリックして、操作をキャンセルします。認証は行われず、Web アプリケーションにアクセスできません。Web アプリケーションにアクセスするには、[はい] をクリックするか、[証明書の表示] > [証明書のインストール] オプションをクリックして証明書をインストールする必要があります。



(注)

システムは、ホスト名を使用して証明書を発行します。IP アドレスを使用して Web アプリケーションにアクセスしようとすると、クライアントに証明書をインストールした場合でも、[セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されます。

### 追加情報

P.1-7 の「[参考情報](#)」を参照してください。

## Internet Explorer での信頼できるフォルダへの証明書の保存

Web アプリケーションにアクセスするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されないように、信頼できるフォルダに CA ルート証明書を保存するには、次の手順を実行します。

### Internet Explorer で信頼できるフォルダに証明書を保存する

---

- ステップ 1** Tomcat Web サーバでアプリケーションを参照します。
  - ステップ 2** [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されたら、[証明書の表示] をクリックします。
  - ステップ 3** [証明書] ペインで [証明書のインストール] をクリックします。
  - ステップ 4** [次へ] をクリックします。
  - ステップ 5** [証明書をすべて次のストアに配置する] オプション ボタンをクリックして、[参照] をクリックします。
  - ステップ 6** [信頼されたルート証明機関] を参照します。
  - ステップ 7** [次へ] をクリックします。
  - ステップ 8** [終了] をクリックします。
  - ステップ 9** 証明書をインストールするには、[はい] をクリックします。
  - ステップ 10** インポートが成功したというメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。
  - ステップ 11** ダイアログボックスの右下にある [OK] をクリックします。
  - ステップ 12** 証明書を信頼して、このダイアログボックスが再び表示されないようにするには、[はい] をクリックします。
- 

### 追加情報

P.1-7 の「[参考情報](#)」を参照してください。

## Netscape での信頼できるフォルダへの証明書の保存

Netscape で HTTPS を使用する場合、証明書の資格情報を表示し、1 回のセッションに対して証明書を信頼する、期限が切れるまで証明書を信頼する、または証明書を信頼しない、のいずれかを選択できます。



(注)

1 回のセッションに対してのみ証明書を信頼する場合は、HTTPS をサポートするアプリケーションにアクセスするたびにこの手順を繰り返す必要があります。証明書を信頼しない場合は、アプリケーションにアクセスできません。

信頼できるフォルダに証明書を保存するには、次の手順を実行します。

### Netscape で信頼できるフォルダに証明書を保存する

**ステップ 1** Netscape を使用して、Cisco Unity Connection Serviceability などのアプリケーションを参照します。

証明書認証のダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 2** 次のオプション ボタンのいずれかをクリックします。

- [この証明書をこのセッションのために一時的に受け入れる]
- [この証明書を受け入れない/この Web サイトに接続しない]
- [この証明書を永続的に受け入れる]



(注)

[この証明書を受け入れない/この Web サイトに接続しない] をクリックした場合、アプリケーションは表示されません。

続行する前に証明書の資格情報を表示する場合は、[証明書を調査] をクリックします。資格情報を確認し、[閉じる] をクリックします。

**ステップ 3** [OK] をクリックします。

[セキュリティに関する警告] ダイアログボックスが表示されます。

**ステップ 4** [OK] をクリックします。

### 追加情報

P.1-7 の「参考情報」を参照してください。

## Cisco Unity Connection Serviceability インターフェイスの使用

Cisco Unity Connection Serviceability でのトラブルシューティング、レポートの生成、サービス関連タスクの実行に加えて、次のタスクを実行できます。

- 単一ウィンドウ用にドキュメントを表示するには、Cisco Unity Connection Serviceability で **[Help]** > **[This Page]** をクリックします。
- このリリースの Cisco Unity Connection で入手可能なドキュメントのリストを表示（またはヘルプの索引にアクセス）するには、Cisco Unity Connection Serviceability で **[Help]** > **[Contents]** をクリックします。
- このサーバ上で動作している Cisco Unity Connection Serviceability のバージョンを確認するには、**[Help]** > **[About]** をクリックするか、ウィンドウの右上にある **[About]** リンクをクリックします。
- 設定ウィンドウから Cisco Unity Connection Serviceability のホームページに直接移動するには、**[Navigation]** ドロップダウン ボックスから **[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックします。
- Cisco Unity Connection の管理 またはその他のアプリケーションにアクセスするには、**[Navigation]** ドロップダウン ボックスで該当するアプリケーションをクリックし、**[Go]** をクリックします。
- Cisco Unity Connection Serviceability からログアウトするには、ウィンドウの右上にある **[Logout]** リンクをクリックします。
- Cisco Unity Connection Serviceability 設定ページごとに、ページの右下の設定ボタンに対応する設定アイコンが表示されます。たとえば、タスクを完了するには、保存アイコンまたは **[Save]** ボタンのどちらをクリックしてもかまいません。



(注)

Cisco Unity Connection Serviceability は、ブラウザのボタンをサポートしていません。設定タスクを実行する際は、**[戻る]** ボタンなどのブラウザのボタンを使用しないでください。

### 追加情報

P.1-7 の「[参考情報](#)」を参照してください。

## アクセシビリティ機能の使用

Cisco Unity Connection Serviceability には、ユーザがマウスを使用せずにウィンドウ上のボタンにアクセスするための機能があります。これらのナビゲーションショートカットは、視覚に障害のあるユーザがアプリケーションを使用する際の補助となります。

キーボードショートカットを使用したインターフェイスナビゲートのガイドとして、[表 1-1](#) を使用してください。

**表 1-1 Cisco Unity Connection Serviceability 用のナビゲーションショートカット**

キーストローク	操作
Alt	ブラウザのメニューバーをアクティブにします。
Enter	アクティブになっている項目 (メニュー オプション、ボタンなど) を選択します。
Alt、矢印キー	ブラウザのメニューを切り替えます。
スペースバー	制御を切り替えます。たとえば、チェックボックスのオンとオフを切り替えます。
Tab	タブの次の項目または次の制御グループをアクティブにします。
Shift+Tab	タブの前の項目またはグループをアクティブにします。
矢印キー	グループ内の制御を切り替えます。
Home	上の領域に情報がある場合に、ウィンドウの上部に移動します。また、ユーザが入力したテキスト行の先頭に移動します。
End	ユーザが入力したテキスト行の終わりに移動します。 下の領域に情報がある場合に、ウィンドウの上部に移動します。
Page Up	1 ページ分だけ上にスクロールします。
Page Down	1 ページ分だけ下にスクロールします。

### 追加情報

[P.1-7 の「参考情報」](#) を参照してください。

## 参考情報

- [Cisco Unity Connection Serviceability の概要 \(P.1-1\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability へのアクセス \(P.1-2\)](#)
- [Hypertext Transfer Protocol over Secure Sockets Layer \(HTTPS\) の使用 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability インターフェイスの使用 \(P.1-6\)](#)
- [アクセシビリティ機能の使用 \(P.1-7\)](#)
- *Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection*

